

(参考資料3)
アンケート調査用紙

看護学生及び病院職員を対象としたウイルス肝炎全般、特にウイルス肝炎の感染性
についての理解度に関するアンケート調査

厚生労働省 厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服政策研究事業）

『肝炎ウイルス感染者の偏見や差別による被害防止への効果的な手法の確立に関する研究』

研究責任者

長崎医療センター臨床研究センター 臨床研究センター長 八橋 弘

共同研究者

東京大学医科学研究所先端医療研究センター 教授 四柳 宏

はじめに

国が定める肝炎対策基本指針においては、肝炎患者等が不当な差別を受けることなく社会において安心して暮らせる環境づくりを目指していますが、肝炎ウイルス感染者の偏見や差別による被害防止への効果的な手法の確立に関する研究をおこなう本研究班では、そのための具体的・効果的な手法の確立を目指した研究をおこなっています。また、本研究班では、肝炎に関する教育の現状と課題を把握し、普及啓発方法等について検討した上で、教材を作成し、その効果を検証する研究を実施することを目指しています。

その目的のため、ウイルス肝炎全般、特にウイルス肝炎の感染性についての理解度を把握するアンケート調査研究を実施いたしたく、国立病院機構付属看護学校、国立看護大学校、活水女子大学看護学部に所属する看護学生の皆さん、国立病院機構病院と国立国際医療研究センター病院に勤務されている病院職員の皆さんに、ご協力をお願い申し上げます。

理解度を把握するアンケート調査ですので、誰かと相談したり、インターネットや本などを調べて回答するのではなく、問題を読んでご自分の考えをそのまま回答してください。

ご回答に当たっては、あてはまるものの数字の記入をお願いします。

分からない質問や、答えにくい質問には、お答えいただく必要はありません。回答しないか、“わからない”の選択肢を選んでください。

本アンケートは無記名（名前を書かない）調査です。ご回答内容などからは、回答者個人が特定できないようになっています。

上記の趣旨をご理解いただき、本アンケート調査にご協力いただければ幸いです。

研究代表者：八橋 弘

調査票送付方法： 調査票のご記入後は、封筒に入れて所属する部署の責任者の方に渡されるか、個別にお渡しした返信用封筒にてご郵送ください。ご回答後は速やかに提出しないし郵送をお願いします。

※ 本アンケートにご回答後、提出または郵送していただくことで、調査協力のお願いに同意して下さったものとさせていただきます。

※ 本アンケートは無記名ですので、提出または郵送していただいた後の同意撤回、アンケート用紙の返却はできません。

※ 本アンケートの提出後または郵送後に、アンケート調査の正解ないし適切な選択肢に関する解説書をお渡しします。ウイルス肝炎全般、特にウイルス肝炎の感染性についての正しい知識を習得する上で、役立てていただければ幸いです。

研究事業名 : 厚生労働省 厚生労働行政推進調査事業費補助金
(肝炎等克服政策研究事業)

研究課題名 : 『肝炎ウイルス感染者の偏見や差別による被害防止への効果的な手法の確立に関する研究』

研究代表者 : 八橋弘 (独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター)

共同研究者 : 四柳宏 (東京大学医科学研究所先端医療研究センター)

調査責任機関 : 独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター

部 署 : 臨床研究センター

調査責任者 : 八橋 弘

解析実務委託 : 株式会社トータルナレッジ

(東京都千代田区九段北四丁目2番2号 桜ビル7階)

調査期間 : 平成30年6月1日～平成31年12月31日

調査結果について : 本アンケート調査の結果につきましては、厚生労働科学研究の研究結果として、解析内容をまとめて公表いたします。

研究結果には、個人が特定されるような情報は一切記載致しません。

お問合せ先 : 八橋 弘 電話(代表) : 0957-52-3121

(独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 臨床研究センター)

- ◆ 所属施設名（看護学生は学校名、病院職員は病院名）をご記入下さい。

- ◆ 現在のあなたに該当する番号をお答えください。

1. 看護学生
2. 看護師
3. 医師
4. 薬剤師
5. 検査技師
6. 放射線技師
7. 事務職員
8. その他（

（ ）

- ◆ 現在の年齢をお答えください。

1. 18歳～22歳
2. 23歳～30歳
3. 31歳～40歳
4. 41歳以上

（ ）

- ◆ 看護学生の方にお尋ねします。

現在の学年をお答えください。

1. 1学年
2. 2学年
3. 3学年
4. 4学年（または4学年以上）

（ ）

- ◆ 病院職員の方にお尋ねします。

勤務年数（以前の病院での勤務年数を含む）をお答え下さい。

1. 1～5年目
2. 6～10年目
3. 11～20年目
4. 21年目以上

（ ）

質問に応じて、該当する番号の記入をお願いします。

分からない質問や答えにくい質問には、無理にお答えいただく必要はありません。

“わからない” の選択肢を選んでください。

»問1 次の病気は、咳をすると他人にうつる可能性が、あるか・ないか、をお答えください。

インフルエンザ (1.ある、 2.ない、 3.わからない) ()

肺結核 (1.ある、 2.ない、 3.わからない) ()

麻疹 (はしか) (1.ある、 2.ない、 3.わからない) ()

B型肝炎 (1.ある、 2.ない、 3.わからない) ()

»問2 次の病気は、食事を通じて感染する可能性が、あるか・ないか、をお答えください。

B型肝炎 (1.ある、 2.ない、 3.わからない) ()

E型肝炎 (1.ある、 2.ない、 3.わからない) ()

O157感染症 (1.ある、 2.ない、 3.わからない) ()

HIV感染症 (1.ある、 2.ない、 3.わからない) ()

»問3 C型肝炎の患者さんと一緒に鍋料理を食べることになりました。食事をする
ことで、あなたが感染する確率はどれくらいであるか、1つ選んでください。

1. 0%

2. 2%前後

3. 20%前後

4. 80%以上

5. わからない ()

»問4 C型肝炎の患者さんの採血をした針を誤って、自分に刺してしまいました。
針刺しであなたが感染する確率はどれくらいであるか、1つ選んでください。

1. 0%
2. 2%前後
3. 20%前後
4. 80%以上
5. わからない ()

»問5 C型肝炎の患者さんを刺した蚊が、次にあなたを刺しました。
あなたがC型肝炎に感染する確率はどれくらいであるか、1つ選んでください。

1. 0%
2. 2%前後
3. 20%前後
4. 80%以上
5. わからない ()

»問6 生後6ヶ月迄に全員受けることとされている予防接種を1つ選んでください。

1. ヒトパピローマウイルス（子宮頸がんワクチン）
2. 麻疹ワクチン
3. インフルエンザワクチン
4. B型肝炎ワクチン
5. わからない ()

»問7 介護施設におけるB型肝炎ウイルス感染者の介護について、正しいものを1つ選んでください。

1. B型肝炎患者の入る部屋は他の入居者と別にする必要がある。
2. 入浴介助によって感染する可能性がある。
3. 食事の介助によって感染する可能性がある。
4. 介護施設の職員はB型肝炎ワクチンを接種することが望ましい。
5. わからない ()

»問8 正しいものを1つ選んでください。

1. 医師・看護師は全員 B 型肝炎ワクチンの接種を受けることが重要である。
2. HBs 抗体陽性の場合、血液中には感染性のあるウイルスがいると考えられる。
3. B 型肝炎ワクチンの接種によって陽性になるのは HBc 抗体である。
4. B 型肝炎ワクチンを接種しても免疫を獲得できないのは高齢者より青年に多い。
5. わからない

()

»問9 B 型慢性肝炎と診断された 52 歳男性が来院されました。

あなたは、この患者さんの感染経路をどう考えますか。
可能性が高いと思われるものを選んでください。(複数回答可)

1. 母子感染
2. 集団予防接種(3歳迄)での注射針の連続使用
3. 覚醒剤の回し打ち
4. 性交渉
5. わからない

()

»問10 文章①～④の中の下線部分の言動が適切かどうか、それぞれお答えください。

① Yさんは、ウイルス性肝炎患者である。看護師Xさんは、患者の取り違えをしてはならないと
考え、看護師Xさんは、「B型(C型)肝炎のYさん、こちらへどうぞ。」と大きな声で診察室
まで案内した。

1. 適切である 2. 適切でない 3. わからない ()

② Yさんが入院する際には、感染に気をつけるために、看護師Xさんは、同室の患者に対し、Yさ
んがウイルス性肝炎患者であるから感染に気をつけるように伝えるとともに、皆にわかるよう
に貼り紙で注意喚起した。

1. 適切である 2. 適切でない 3. わからない ()

③ 看護師Xさんは、Yさんの入院時の注意として、食器は他の患者とは別の使い捨てのものを使
用させ、入浴はシャワーのみで最後に使用させるように申し送りをした。

1. 適切である 2. 適切でない 3. わからない ()

④ B型肝炎は予防接種をすることにより感染を防止できるので、看護師Xさんは、臨床現場に出
る前に、B型肝炎の予防接種を受けた。

1. 適切である 2. 適切でない 3. わからない ()

»問11 文章①～③の中の下線部分の言動が適切かどうか、それぞれお答えください。

① 歯科医Xさんは、他の患者に感染させないようにするため、C型慢性肝炎の患者さんに対して、肝炎ウイルスの感染力が無いという証明書を持って来るまで治療しないと伝えた。

1. 適切である 2. 適切でない 3. わからない ()

② 看護師Xさんは、医療従事者は、病気を治すことが仕事であるから、医療費の助成制度や特別措置法の救済対象であるかどうかなど患者を支援する制度については知る必要もなく、患者に対して伝えることもしなくて良いと考え、肝炎患者からの相談を受け付けていない。

1. 適切である 2. 適切でない 3. わからない ()

③ C型肝炎ウイルスの排除に成功した患者さんから、「もう通院の必要はないですね?」と尋ねられた看護師Xさんは、「ウイルスを排除しても検査をする必要があるので定期的に通院してください。」と答えた。

1. 適切である 2. 適切でない 3. わからない ()

以上で、アンケート調査は終了です。ご協力有難うございました。

記入されたアンケート調査用紙は、封筒に入れて所属する部署の責任者の方に渡されるか、返信用封筒にてご郵送ください。

本アンケート調査に関して、お気づきの点や感想、ご意見等がありましたら、下記に記入をお願いします。